

# みやぎ材ものづくり材料



みやぎの木づくり運動

宮城県登米市産のスギを使用したものづくり材料です。スギはやわらかく、力の弱い児童生徒でも加工しやすい材料です。

表面は、機械のカンナで削られているので、紙やすりを軽くかけるだけでツルツルになります。幅の広い板は、ゆがみの少ない集成材です。天然素材なので一枚ごとに木目も違えば節がある場合もあります。木目や節も上手に生かしてください。無節材(フシなし材)もございます。

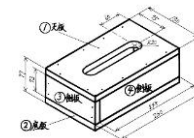
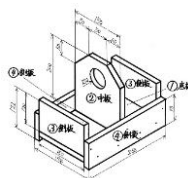
		寸 法	税込み価格
	スギ集成材 (板材)	920×150×12mm (同 フシなし材)	1,370円 (2,230円)
		920×210×12mm (同 フシなし材)	1,910円 (3,080円)
	スギ無垢材 (板材)	920×40×12mm (同 フシなし材)	430円 (670円)
	スギ無垢材 (角材)	910×30×30mm	530円
		910×20×20mm	380円
	スギ無垢材 (丸棒)	910×直径30mm	880円
		910×直径15mm	480円
	<b>【上記以外のスギ材基本サイズと税込み価格】</b> ・ 600×300×10mm : 1,280円 (フシなし 1,970円) ・ 910×90×15mm : 850円 (フシなし 1,280円) ・ 910×45×15mm : 450円 (フシなし 700円)		

ご注文から納品まで、1か月程度お時間をいただきます。早めのご注文をお願いいたします。



製作品例や等角図などの指導資料は  
←Webページからご利用ください。

<https://miyagidukai.web.fc2.com/seisakusiryuu.htm>



(2024年税込み価格)

製作：津山木工芸品事業協同組合 (もくもくハウス)

販売：

(株) 北文社

本 社 TEL:022-241-2111 FAX:022-241-8229  
 石 巻 TEL:0225-95-5891 FAX:0225-95-5899  
 古 川 TEL:0229-22-8080 FAX:0229-22-8082  
 柴 田 TEL:0224-58-2111 FAX:0224-58-1141

(株) 宮城県学校用品協会

中 央 TEL:022-396-0151 FAX:022-396-0741  
 古 川 TEL:0229-21-8157 FAX:0229-23-8459  
 追 込 TEL:0220-22-1983 FAX:0220-23-2268  
 石 巻 TEL:0225-96-2183 FAX:0225-94-5158  
 柴 田 TEL:0224-56-2881 FAX:0224-56-6771  
 気仙沼 TEL:0226-22-8081 FAX:0226-22-6644

企画：

任意団体NPO **みや木づくり**  
<https://miyagidukai.web.fc2.com/>  
 メール [miyagidukai@gmail.com](mailto:miyagidukai@gmail.com)

Web



# 宮城県内中学校 技術・家庭科 ご担当者様

宮城県内では、平成 23 年度から、図工や技術で使用する材料として宮城県産スギを使ったものづくり材料を販売しています。この材料は津山木工芸品事業共同組合（もくもくハウス）様に製作を依頼し、(株)北文社様と(株)宮城県学校用品協会様に販売をお願いしています。販売開始以来 1 万人を超える中学生がこの材料を使用しており、令和 4 年度からは、宮城教育大学において技術科教員を目指す学生にも使用していただいております。

先生方からご要望のありました 150mm 幅の集成材と 40mm 幅の無垢材をラインナップに加え、のこぎりの縦びきを省いた作業により、作業時間を短縮した指導にもご活用いただいております。

みや木づかい

地産地消のものづくり教育

みやぎの木づかい運動

その木材はどこ生まれ？

材料に関する情報や製作資料、作業動画等を Web ページに掲載していますのでご活用ください。

<https://miyagidukai.web.fc2.com/>



作業動画は、宮城教育大学の卒業生が、在学時に制作したものです。



<https://miyagidukai.web.fc2.com/video2.htm>

生徒が、製作品を設計する際の参考資料として Web ページを使用する場合、下の生徒用プリントの QR コードを読み取ることで、製作品例の写真、等角図、木取り図が表示されます。「何をつくらうか」悩んでいる生徒の参考資料としてご利用ください。

キ リ ト リ

## 生徒用プリント

### 1. 参考 Web ページを見てみよう。

右の QR コードを読み取るか、次の URL をブラウザで開きましょう。

<https://miyagidukai.web.fc2.com/seisakusiryu.htm>



### 2. 画面の図をタップすると、大きな図が出てきます。大きな図をピンチアウトすると、さらに拡大できます。

みや木づかい

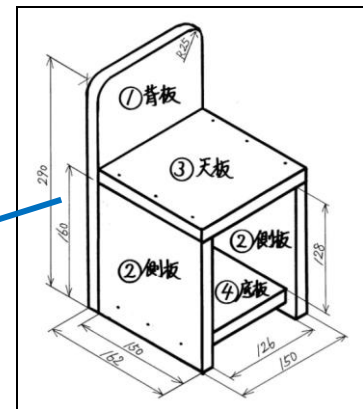
宮城県産木材を使用した地産地消のものづくり

(1) 材料サイズ 920×150×12 の作品例

① 本立てA ② 本立てB ③ 本立てC

④ 整理棚A ⑤ 整理棚B ⑥ 整理棚C

⑦ 小物トレイ ⑧ ティッシュボックス ⑨ 整理箱



## その木材はどこ生まれ？

宮城県の森では、たくさんの木々が日々成長しています。しかし、我々が利用している木材は、成長した木々の半分程度であり、森にはたくさんの木材資源が埋もれたままになっています。特に宮城の森には良質なスギがたくさんあり、スギ生産量は全国8位(令和2年農林水産統計)です。一方、我々日本人が使用している木材の半分以上は輸入材です。貨物船でたくさんの燃料を使って運ばれてきます。海外では、環境のことを考えずに伐採されている森林もあります。宮城県産スギ材を使った地産地消のものづくりは、環境やものづくりへの責任について考える機会となります。

## 人工林と天然林の違いは？

森林には、人の手が入らずに樹木自身が長い年月をかけて育った天然林と、人が手入れをしながら樹木を育てる人工林があります。人工林は、野菜でいえば畑のようなものです。畑は手入れをしなくなったらどうなるでしょう？ 木は年をとると、CO<sub>2</sub>吸収力が衰えます。成長した木は適切に利用し、新たな木を育てることが大切です。森林を育てるためには間伐も必要です。間伐をすると、木の成長が促進され、植生が豊かになり、多くの生き物が生活できる森林になります。水を蓄える能力も高まり、土砂崩れも防げます。間伐によって生じる間伐材の利用促進も課題となっています。

森林の育成技術については、「A材料と加工の技術」での指導内容は減ったように思われますが「B生物育成の技術」においても触れる内容となっています。

(写真：みやぎ材利用拡大行動計画より)



<間伐の遅れた林>



<間伐を実施した林>

## SDGsの視点では・・・



SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)とは、2015年に国連が採択した国際社会全体の2030年に向けた環境・経済・社会についての目標です。17のゴール、169のターゲットから構成されています。

宮城県産木材を使用した地産地消のものづくりは、次の3つのゴールに大きく関わっています。環境によいという漠然とした捉えではなく、「持続可能なものづくり」「ものづくりの責任」と行った視点からも学習し実践できる活動です。

- 12 つくる責任 つかう責任  
持続可能な生産消費形態を確保する
- 13 気候変動に具体的な対策を  
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- 15 陸の豊かさを守ろう  
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

任意団体NPO みや木づかい

<https://miyagidukai.web.fc2.com/>

メール [miyagidukai@gmail.com](mailto:miyagidukai@gmail.com)

Web

